明治四十二年七月三日（土曜日）　第百五十一號（一）　（日刊）日曜及祭日翌日休刊　明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

偶感

詩鉛

▲如何なる問題に逢着し如何なる疑義に遭遇するも毫も躊躇せず逡巡せず截然として一定の解釋を下し敢然として獨創の評論を加ふるもの當世蓋し大隈伯に如くはなし、伯近者早稻田大學講師の集會に於て例の長廣舌を弄し當今の教育を評して曰く「全体國民の多數を擧げて學者にしようとする教育方針は大間違ひである、學者は一種の天才、而して小數の人に限らる可きものだ既に學者たる者の數に限りありとすれば時代に相應す可き國民普通の教育を施すのが急務である」、言固より奇警には非ざるも確かに一識として耳を傾くるの價あり勿論國民普通の教育を施すは當今の急務なり急務なるが故に伯が經營する早稻田大學の卒業生は其の智識に於て學才に於て普通的なり而已ならず全靈は伯の頭腦が普通的なるを以て否な普遍的の典型なるを以て斯くは好んで普通的の人材を作り普遍的の氣風を普からしめんとするにあるなるべし此の點に於て伯は早稻田大學の大動脈にして又脊髓骨たりといふべし宜べなり年々伯の胎内を飛び出す小大隈伯は今や何れも此の普遍的智識と學才とを發揮して世界至る所に跳梁しつゝあるに非ずや

▲宇佐川總裁の雷名は南大門朝市の青物より確かに二三錢方低廉なり而して此の雷名にして眞の雷名たらしめ眞の響名たらしめんには須らく露來の北鳴りを驅して東西南の何れかに轟かざるべからず、今や山雨來らんとして風樓に滿つ、未だ知らず氏の雷名を怒號して寂然屏息せしむるもの出づるなきかを

▲京商議員半數改選は三十日を以て決定す當選の諸子何れも新進の有材所謂恒產恒心の面々のみ蓋し京城商業界の爲めに圖つて以て貢獻する所鮮少に非らざるべし、唯望む諸子は此の肩書を畢生の名譽となし所謂有志家風を吹き回はさゞらん事を要するに肩書は頭上の瘤にして有つても無くとも好きものなればなり

▲韓皇には地方の旱魃を憂ひさせられ降雨なきは朕が誠意の達せざるが爲めなりとて之れある哉此の詔勅を下したる翌日案の條降雨ありと或る新聞は報せり降雨と詔勅一は水にして一は文字なり一は皇天の所有物にして一は主權者の要求のみ需用供給の原則上毫も不可思議あるなし唯此の場合に於ける原則は供給者の權力特に絕大たるにある而已

文苑

●自殺の種類　紅●

自殺の種類を分類すると大抵下の如く分つことが出來る(一)惡いことを爲して申譯けが無いから(二)失敗したから(三)意地が立たないから(四)口惜しいから(五)不治の疾患に罹つて一族に迷惑を及ぼすに忍びぬから(六)思つた人と添ひ遂られないから(七)思つた人に嫌はれたから(八)家計が不如意だから(九)家庭の不和を見るに忍びぬから(十)何うして太陽が東から昇るか夫れが不明だから(十一)一身滅して萬念滅す寧ろ死して天國に遊ばんと云ふ心から(十二)れならをして笑はれて耻かしいから(十三)土方でもすれば生存は出來るけれど俺は中學校迄も卒業したのに夫れも出來ないから寧ろ死なう等であらう

馬賊（上）

満洲男

櫻の花の匂ふ四十年
春の上野を落ちのびて
玄海の波に臨濯ひ
遼河の流れ遡る
牛莊街の邊りに本營は
早や傳へ來る雲の文
人稀ひとしき满の野に
友は三姓寧古塔
黑龍江や固木納
志す中心點は同一に
地の利を求め天險の
幾世久しき森の中
纏ひし肌の衣薄し
異鄕は重く身は輕し
腰まで垂れし髮長く
伸びる高粱に露深し



佐倉宗吾

（百廿二）　眞龍齋貞水講演

千葉村忠藏が不意の自殺に、役人はアッと驚きました、忠藏は百姓とは申しながら美事に腹かつ割いたのは、宗五が見込で兄弟分になつたゞけ、實に天晴なものでございます、それを見たる百姓共は、一同にワッと泣出した、此時宗五は磔付臺から冷やかな笑を漏し宗「ア、忠藏殿、よく死んで下すつた、冥途の旅は諸共でございます」と云ふを中島宗四郎が宗「ソレ、猶豫いたせば何事が起るかも知れぬ池永殿が御猶豫なさるに由つて、斯る椿事出來に及ぶ儀でござる、餘りと云へば手緩き扱ひ　五「イヤ〳〵左にあらず、今この千葉村の忠藏が最後を遂げしも理の當然、人情は斯くあるべき事でござる、サア不憫なれども宗平爺之へ曳けッ」此時總領の宗平が宗「父樣、母樣、御先きへ御免下さいと、首うな垂れたる時に、ヤッと云ふと其處へ宗平の首を打落した、宗五郎殿夫婦は之を見てハラ〳〵ッと落涙をなさる、一同見送の人は、南無阿彌陀佛〳〵南無妙法蓮華經〳〵と叫ぶ、ソレッと云ふ指圖の下に、左右から槍を持ちました非人が、宗五郎夫婦を今や突き殺さんとした時に宗五郎は　宗「暫く御待ち下され……さて御役人樣、暫く御待ち下され」兩眼を睜いたる宗五郎が、一同見送りの百姓の方を熟と見廻すと、百姓一同は「アヽ公津の旦那樣、御免下さいまし、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛すると」宗五郎が　宗「御百姓衆、御一同、十一ケ年の間、嚴しき御取立を蒙り、愈よ皆樣方が茲に餓死すると云ふ場合に成りましたに由つて、私は江戸表へ出まして將軍家へ御直訴に及び、今この處に於て生命を捨てまするのは、皆樣方を御助けしたい所存でござつた　百「有難うございます、南無阿彌陀佛〳〵　宗「今この處で御處刑になつて死ぬ私は、兎に角、貴下方は是から、朝は夙く夜は遲く迄、寸暇も油斷なく、御働き下され、希か御年貢米は差支ないやう御上納を願ひます、宗五郎を不憫と思召し下さるならば宗五郎の菩提を吊うと云思召があつたならば、毎日働いて、御年貢米を滯りなく御納め下さい、分りましたか、宗五郎を不憫と思召し、菩提を吊うと云ふ心持があらば、朝夕一生懸命に働いて御年貢米を滯りなく納めて下さい、是が何よりの御願ひでございます、分りましたか」と見廻しました時に、一同の者は　百「一承知いたしました、有難う存じます、南無阿彌陀佛〳〵」此時宗五郎は

弓張の月は端山に影れちて
夾の里の露と消ゆ行く

之を唱へると共に　宗「イザ御處刑を願ひまする」と申されますと、槍を把つたる非人が、左右から槍先で、宗吾の眼の前へチャリーンと合せました時に、冷りつと宗五郎が笑ひました、其時に一同の見送の者は、唯もう頭を下げて念佛を唱へ、題目を上げて居ります、すると中島宗四郎が　宗「早く突けッ」聲を掛ける、其内に左右から、プツヽと肋を突き上げる　宗「ウーム」一ッカが入ると、身を戰慄して血潮は迸る見る〳〵間に顏の色は蒼白に成り、兩眼血走り中島宗四郎の顏をハッタと睨む、ブルッと宗四郎戰慄い上る、其内に三本目の槍で止を突く、是は御上の御慈悲でございます、同じ磔を致すにも、槍數を澤山かけると、罪惡が多くなる譯でありますが、有難ての時は、三本目の槍で宗五郎は落命を致しました、霙れ美禰も三本の槍で落命をする、此處で愈よ宗五郎は、四十三歳れ美禰は三十三歳で、誠に氣の毒ながら夾の臺の露と消ゆましてございます、そこで一同の者は、銘々念佛を唱へながら引揚げました、宗五郎夫婦の死骸は、三日の間それへ曝して、三日の後菩提所の東勝寺へ片付けました



京城新報

若しも余にして統監ならば（其二）

若しも余にして統監ならば、其爲さんとすることは澤山ある、最も世事萬端言ふは易くして行ふことは難いものである、併し余が茲に言はんとすることは必ず行ひ得ることで而も又容易に行ひ得る範圍に於て之を言ふのである。

眞先になすべき事は**内閣の更迭**である、**各部の廢合**である、兎にも角にも李完用内閣が去る四十年の春に成立して以來伊藤前統監の指導を受けて彼の一大政變を切抜けて、種々の改革事業に手を染めたのは事實である、併し夫れは單に手を染めたと云ふに止りて實際に於ては何を成功したか殆ど取留めて言ふべき程の事をして居らぬのである、元來李完用と宋秉畯とは犬猿も啻ならざる間柄である、由來韓人は意外に融通の利く方で犬猿の間柄でも或る利益の爲には一致するのである、故に李宋聯合の内閣も案外に容易く出來たのである、

李宋聯合内閣は元々**伊藤公**の腦中より湧き出でたるものではない、或る目的の爲めに李と宋とが提携して伊藤公に**持込**んだものである、否**或者**が李宋の背後にありて伊藤公に持込ましめたのである、當時伊藤公は或る川を渡らねばならぬ事情になつて居つたのである、然る處へ李宋が之を持込で來たので所謂渡りに船と受け込んだのである、之が則ち當時李完用内閣の成立したる裏の事情である、而して前にも云へるが如く李完用内閣は表面多少の仕事をなしたる如く見へるが、決して取留た仕事は爲して居らぬ、元來伊藤公との關係が前述の如き始末であるを以て、表面には公の指導を受けつゝありしも、腹の中では寧ろ公のれ人善しを笑て居つたのである、斯る状態ではドウしても誠心誠意施政の改善に留意する筈は無いのである、否せぬのが寧ろ當然であるかも知れぬ全體伊藤公が其在任中余りに李完用等に重きを置き過ぎて**部下**の日本人を差措きて事毎に彼れ李完用等に**相談**したのが抑も**間違**である、之が爲に部下の日本人等は皆**不平**を鳴らし彼れ李完用等は益々**附上**る樣になつたのである、苟も眼識を有するものは此状態に就て深く慨歎して居るのである。

併し李完用内閣は韓國に於て未だ曾て例のない程永く續たる内閣である、されども實際の處最早今日に於ては唯其形骸を留むるのみにて實力は疾く消失して居るのである其状恰も牛乳を搾り上げたる**老牝牛**同然である、果して然らば今日に於て形骸のみ存して實力なき彼等が如何に統監の政策に對して反對しようと、贊成しようと更に何等の影響はないのである。若しも余にして統監ならば、斯る無用の内閣は一日も之を存する必要はない、速に之を更迭せしめ以て所謂各部の廢合をなし韓人なり日本人なりをして之に替らしめ人心を新たにすることを斷行するに躊躇せぬのである。

北京電報

▲**端方ご那桐更迭説** 端方氏は軍機大臣に那桐氏は揚士驤氏の後を襲ひ直隷總督に任せらる可しとの説あり

▲**獨と法庫門鐵道** 獨逸公使は南滿法庫門鐵道に關し右はポーツマス條約により日本の所有に屬し鐵道地帶に於て優越の特權行使の資格ありと論せり（以上二日東京經由）

大連電報

▲**大連芝罘海底電線開通** 大連芝罘間の海底電線は竣工し試驗成蹟良好なり本月中旬通信を開始する筈（二日午後發）

東京電報

▲**答禮大使參内** 清國答禮大使振貝子殿下は本日午前十時宮中に參内鳳凰間にて我兩陛下に御對顏あらせられ清國皇帝よりの親書並に御贈品を捧呈せられたり

▲**宮中の午餐會** 別項御對顏の後我陛下には振貝子殿下の爲特に午餐會を開かせられ伏見、東伏見宮兩殿下を召され清國公使以下に御陪食仰付けらる

▲**派遣隊の渡韓** 全國豫後備より募集の韓國駐屯兵增加隊百廿名は十二日渡韓の筈（以上二日午後發）

▲**滿洲施設方針説明** 桂首相石井外務次官は米國大使オブライエン氏に滿洲施設の概要及對清方針を詳細に説明せり大使は十日歸國の後大統領タフト氏に復命すべしと

▲**討伐行賞發表** 暴徒討伐隊准士官以下三千三百二十六名に對し本日特勳功七級以下の行賞發表さる

森壺氏はホノルヽ在勤を罷めらる（以上一日經由）

雜報

●**皇室債務ご訴訟** 韓國皇室の債務は債務審査會にて此程全部審了したるが請求額に對する支拂決定額は左の如し

△各宮債務	申請額	六十萬八千七百廿圓
	支拂額	十八萬千五百六十圓
△準宮債務	申請額	十四萬千九百六十圓
	支拂額	十萬六千四百廿圓
△雜債務	申請額	百六十三萬六千圓
	支拂額	九萬五千八百廿一圓

右判定に不服ある者は六十日以内に控訴院に異議の申立を爲す事を得る譯なるが既に現判決に服せず控訴したるもの八件三十一人ありと云ふ

●**地方費豫算の編成** 本年度に於ける地方費豫算は同法發布の日より來る八月末日迄に編成すべき筈にて目下各道書記官は財務監督局長と協議の上地方費賦課の種類税率等を調査中なりと尚來年度の豫算は本年中に編成すべしと云ふ

●**韓國會計法改正** 現行韓國會計法は去明治廿七年の發布に係り昨年應急修正を加へたるも尚不備の點少なからざるを以て根本的改正を爲す方針にて目下草案中なりと因に改正法は來年一月の新會計年度より施行さるべしといふ

●**定例大臣會議開會** 一日午前十一時より李總理以下各大臣内閣に參集し定例内閣會議を開きたり

●**新舊統監送迎會** 京城及龍山民團の主催に係る新舊統監送迎會は來る十二日午後六時より倭城臺にて開催することに決定したりと云ふ

●**傳習所ご補助金** 全羅南道羅州に於ける竹器傳習所に對し其筋にては一箇年限り五百五十圓の補助金を交付したりと

●**チロル氏の着仁** 先日入京したる倫敦タイムス記者チロル氏は其後渡清中の處二日大連より仁川に入港夜行列車にて釜山に經て東京に向ふ筈なり

●**夏期講習會の經費** 學部にて夏期講習會を開設する事は既に報せる所なるが同會經費として七百圓を支出す可く學部大臣より一日内閣會議に提出せりと

●**韓皇の行幸次第** 韓皇には來る五日東籍田に於て受麥式を行はせらるゝが當日の次第を聞くに午前九時昌德宮出御、東籍田に行幸あり式を了りて後十一時四十分同所發輦、洪陵なる閔妃の墓に參拜し二時三十分同所より還幸あるべき筈なりと

●**荒井次官の歸任** 中央銀行設立に關する要務を帶び上京中なりし荒井度支部次官は二日夜南大門着列車にて不破事務官、河内山、神田兩書記官を隨へ歸任したりと

●**僞造白銅貨の注意** 僞造白銅貨は今尚盛んに流通せられつゝありて韓人等は之が眞僞を判明すること能はず平然として交換を爲しつゝある由なるが銀行員すら時々僞造を受取ることありとは大に注意すべきことなりと

●**全南漁區調査終了** 免許漁業出願に付漁場實地調査の爲め南韓方面中全羅南道各沿海に出張中なりし農商工部堀内主事一行は一先づ調査を終了せしに依り去る一日何れも歸廳せり

●**韓太子學友の言上** 韓太子に隨伴し日本留學中の高義正、高興謙の兩名は暑中休暇の爲め此程歸國したるが一日德壽宮に伺候して太皇帝、嚴妃に謁見の上親しく韓太子の近狀及學問の進歩等を言上したりと

●**統監の領事招待** 曾禰新統監は三日午後七時官邸に英、米、露、佛、獨、清、白の各總領事及伊國領事を招待して晩餐會を開き統監府側よりは石塚長官鍋島外務部長、村田外波兩武官、國分佐竹兩秘書官、小松書記官等列席する筈

●**警察部長會議延期** 觀察使會議終了後直に各道警察部長會議開會さるべしと前紙報導したるが斯くては餘りに會議のみ續き且つ現今緊急問題もあらざれば來る九月頃開催の事に變更したりと云ふ

●**三税實施成績** 韓人側三税實施の成蹟を聞くに北韓方面は生活費低く地代商品等低廉なる爲め比較的滯納者少なきも南韓方面には滯納者非常に多數なりと

●**鑛業者國籍別** 鑛業並に砂鑛採取本年前半期分各國人の出願總數は六月三十日附調査に依れば

種目	韓人	日人	米人	英人	計
鑛業出願件數	五一	八七	一四	五	一五七
砂鑛出願件數	三	一六	三	—	二二
合計	五四	一〇三	一七	五	一七九

●**一進會の會則改正** 一進會にては曩きに委員を設けて會則改正中なりしが一兩日の内脱稿する筈なれば不日之れを總會に付し發表するに至るべき由なるが其内容は各地の支部を廢して年一回京城に各會員を召集し總會を開くことゝなれりといふ

●**京商議長の選擧** 京城日本人商業會議所にては今回新選せられたる議員總會を近日開會し議長選擧を行ふ筈なるが議長候補者として第一銀行の木村氏を擬するものあるも氏は議長たるを好まざる由なれば目下の處中村現會長か山口太平、曾我勉二氏の競爭となるべしといふ

●**旱魃の下問と訓令** 韓皇には近來の旱魃に就き下民の苦痛を察せられ過般李總理、朴内相、趙農相を召され種々下問の上常膳を減ずべき旨仰出だされたるに就き各大臣は恩召の有り難きを感佩し一般人民に周知せしめん爲め當局大臣は不日各地方官に訓令を發し其旨通達せしむべしと云ふ

●**大毎社長の歡迎會** 大坂毎日新聞社長の本山彦一氏は來る四日群山より仁川に到着即日入京の上一週間滯在して大連に向ふ筈なるが在京城の四新聞社熊谷民長和田民會議長中村商業會議所會頭及中島司馬之助の諸氏發起となり來る五日夜掬翠樓に於て歡迎會を開くべしと

●**憲兵隊の編成改正** 韓國駐劄憲兵隊の編成は今般改正されたるが其結果として將校二十名特務曹長以下百二十名增員さるゝこととなりたり尤も將校は本年春以來既に增員の上配屬せられ居りしものなるも今回の編成にて定員内の者と爲したるなりと而して下士以下百二十名の增員は必要なる或る方面に增派せらるゝものなりと云ふ

●**トロール漁業反對** 韓人漁夫及び日人漁夫は何れもトロール漁業に反對せざるなきが釜山、馬山、木浦、群山等の各漁業者は日韓人を問はず全韓國の漁業者大會を開きて之に反對せんとの計畫あり二三のもの寄々協議を遂げ檄を一同に飛して反對の氣勢を高むべき準備中なるやの說あり尚同地の漁業家某氏の如きは萬一の場合に於ては自ら當年の佐倉宗五郎を以て任ぜんと意氣組み居る由なれば本案の他日に於る發展は頗る注目の價値あらんと同地の新聞に見ゆ

●**地方費ご罹災救助** 罹災救助費は從來豫算に計上しあらざるを以て内部は必要に應じ其都度内部所管の豫算の内より支出しつゝありたるが斯くては多數の日子を要する上に罹災救助の本旨に悖る處あることより過般開會したる道書記官會議に之れが適當の方法に就き諮問したる處各書記官の意向は、國庫の補助を受け地方費中より支出することに一致したるを以て別項地方費豫算の編成と同時に罹災救助費の計上を見るべしといふ

●**龍山軍司令部吊魂祭** 伊藤前統監の渡韓を好機として龍山軍司令部にては暴徒討伐に仆れたる勇將烈卒の忠魂を慰むる爲め盛大なる吊魂祭を行ふ由

●**官立學校職員會議** 學部に三日午后一時より京城官立學校職員會議を開き主として普通學校教授管理法に就き議すべしと

●**日英博ご出品計畫** 日英博覽會の出品計畫に就ては曩に統監府に於て成案し目下同府所管並に韓國政府側にて準備中なるが概略の出品表目左の如し

表名		主管官廳
第一表	氣象表	觀測所
第二表	戸口表	統監府
第三表	日本人教育表	同
第四表	韓國人教育表	學部
第五表	在韓金融機關表	統監府
第六表	第一銀行に關する表	度支部
第七表	貿易表	關税局
第八表	同	同
第九表	同	同
第十表	鐵道表	鐵道局
第十一表	通信表	通信管理局
第十二表	水產表	農商工部
第十三表	鑛物表	同
第十四表	農產林業表	同
第十五表	統監府所管官署豫算表	統監府
第十六表	韓國財政表	度支部
第十七表	統監府及所屬官署（韓國政府職員表）	統監府

●**暴徒鎭壓ご巡邏船** 内部に於ては暴徒鎭壓の爲め小蒸汽船十數隻を借り入れ兼て密漁船の取締をも講ずべき筈なるが三十日上阪したる外波武官は之れが借り入れ斡旋方を囑托せられたる由にて其費用は豫備金中より支出すべしと云ふ

●**日英博の協議會** 農商工部に於ては過般來日英博覽會に對する準備に就て協議中なりしが二日も亦各局課長大臣室に參集協議するところありしと云ふ

●**農商工部員昇給** 農商工部吏員の定期昇給は既に調査を了りたるを以て近日發表さるゝ筈なりと

●**漢城府雇員減少説** 漢城府にては從來の使用雇員を減じ日本人を雇ひ入れんとの說ありと

●**高級副官の異動** 別項記載の如く憲兵隊の編成改正に伴ひ從來憲兵隊長の高級副官は中佐なりしも少佐を以て之に充つることゝ成りたる結果山形中佐は憲兵分隊長に轉任し藥師川少佐は憲兵隊長の高級副官に補せられたりと

●**豆腐製造會社の總會** 京龍間の豆腐製造業者約二十名協議の上今回京城に豆腐製造合資會社を設立するに決し去月卅日大和町梅の家にて創立總會を開き定款を作製し併せて事業開始の打合せをなしたりと

●**永濱關税總長歸任** 上京中なりし永濱氏は荒井次官一行と共に二日夜歸任したり

●**林統監府技師の歸任** 水產事務打合の爲め入京中なりし釜山在勤林統監府技師は用濟となりたるを以て二日南大門發の滊車にて歸任したりと

●**大韓醫院長任命** 陸軍々醫總監醫學博士菊地常三郎氏は近々大韓醫院長に任命さるべしと

●**警察官の茶話會** 内部警務局及警視廳員は二日午後一時より舊警察官練習所に於て茶話會を開きたり

●**米清領事の訪問** 清國及米國總領事は一日統監邸に統監を、統監府に鍋島外務部長を訪問したりと

●**雜誌朝鮮** 七月號は出づ、例により體裁優美、卷を開きて先づ眼に入るものは人物と位置、所論簡潔にして古今人物の立場に就て氣を吐くこと虹の如し、思はず快哉を叫ぶ、時事評論は簡にして要を得たるもの此一欄を讀めば韓國に於ける大勢時事を諒解することを得る也、人物評判記の一進會と大韓協會の人物類編は此雜誌獨特の調ありて面白し、見聞錄は小瞭片なれども諷刺罵倒骨を抉るが如きものあり、其他論說、研究、富源等見るべきもの、參考資料もすべきもの多し、殊に喜ぶべきは文藝欄の賑かになりたる事也（三號五號廿五錢本町七丁目朝鮮雜誌社）

本日の集會

●**京城基督教會青年會** 同會にては三日午後八時より壽町日本人商業會議所に於て講演會開會の由なるが演題及び講演者如左「如何にして韓國を富ますべき乎」中村彦「演題未定」牧師 村田重治

●**佛教青年會** 南山本願寺の同會にては三日午後八時半より例の通り講話ある由講演者は隈本中學校長にして「戊申詔書」といふ演題なり

公人私人

▲日戸勝郎 浦尾に止宿中一日平壤へ
▲岡本幸太郎（淸國直隸縣級師範學堂敎習） 二日入京浦尾へ
▲寺本三二（同上） 同
▲加茂見治（關東都督府事務官） 同日入京原金へ
▲片山萬治（建築所技師） 同日入京天眞樓

近事片々

▲淸國 は今や世界外交中心となる各國擧て有爲の人物を選擇し公使たらしめんとす
▲帝國 の對淸政策は如何公使の人物は如何淸國通と雖伊集院君にては少々物足らぬ
▲淸國 に對する外交の如何は互に韓國經營の上にも影響す滿韓經營策是れ共通の者也
▲北京 には國柄として威名ある元老を駐在せしむる必要あり是大陸經營上の大問題
▲鐵道 布設は拙速主義を採ると曾禰統監語る是れ實に萬人の望む所何人も異論なし
▲新統 監が鐵道布設に熱中せらるは甚だ喜ぶべき事此分にては案外の事蹟を擧げ得べし
▲フエ アバングス氏外國通信員に語て曰く韓國改善は全く保護政治の建設に依るさ
▲司法 制度の改善は重要なる改革の一也新教育の開始は將來甚大の效を奏せんかと
▲外人 の目に映ずるものは先づ司法制度と教育制度なるが着眼總て裡面には及ばず
▲韓佛 會社なる者起て農事經營をなし東拓の向を張らんとするとの說は果して眞乎
▲韓佛 會社とは佛人韓人の共同事業にて重に農事經營をなす會社の背後の尻押は誰
▲伊公 も愈々一昨一日大森出發渡韓の途に就かる倭省城の上は如何の態度を取るか
▲滯在 中は送迎の宴會盛にして殆ど忙殺されむ老公のれ名殘演說は無や舞台上らむ
▲併し 長白山頭埋骨の樂語は最早聞くを得す更に新奇發明の豪懷を開くを得べきか
▲陸軍 武官增俸の說あり果して事實ならば世の批難必ず起らん物は總て平衡を要す
▲現在 に於て武官は文官に比して俸給安しと云可らず殊に軍人には名譽なる者あり
▲原敬 氏歐米より歸來感ずる所ありて尾崎學堂と握手舊交を温めんとの說は事實か
▲長谷 場大岡元田等碌々鳩山磯鈍竹越岡崎等は輕浮黨内賴むに足る人物なき爲也と
▲ルー ズベルト氏のトルストイ論は尤も痛快に讀まる其眼光眞に炬の如き者ある也
▲進步 黨の陣笠福井三郎今尚古城址考の編纂を續くと此點丈けは少々見上げ遣はす

……日の博愁と觀り韓國に於ても漁業法施行せ一することは不可なりとすらも何程か制限の下

●天氣豫報（自二日午後六時至三日午後六時）

▲村田少將昇任 現行憲兵司令部條令改正の結果村田少將は中將に昇任の上憲兵司令官に補せらる

▲齋藤領事罷免 ホノルヽ總領事齋

（二日午後發）東電報

▲迂回復線工事 バイカル湖迂回線を復線とする爲め委員を派遣し明春解氷後工事に着手する筈也と（二日午後東京



▲相談の相談▼（何んでも御相談に應じ升）

◎問 私は或る商家の二男坊でありますが今回國の方から母方の親類の方から父に私を養子に欲しい是非呉れと云つて來ましたそうで其の事に就きて私の考を聞いて參りました、小糠三合持つたら壻養子には行くなと私の國では申す位ひで況して其の親類の宅と申すのが商賣も思はしくなく俗に申すひだりまへなのです、尤も食ふに困ると申す程ではないんですけれども何うも氣が進みません、夫れなれば斷ればよい樣なもの丶幼い時分には一方ならず可愛がつて呉れた人では有るし配偶には死なれ一人あつた息子には先年先き立たれ心淋しく雇人對手に暮して居る所謂叔父さんの心を思ふと氣の毒にもなるので何うしたものか思ひ迷つて居ます御判斷を（迷ひ男）

◎答 分明ました、養嗣子たることを承知なさい、意氣地のないものには養子は禁物だが貴子の幼時からの性行を知悉した方から財産のひだりまへの所へ來て呉れと云ふには貴子に見所があるのだ、從つて責任も大きく且つ重いが夫れ丈け男子の腕を揮ひ得る餘地があらう、氣が進まんと云ふのは養子を意氣地ない者と斷めて終つた昔し話が頭腦にあるからです（係）

◎問 此度韓國京城裁判所にて擧行せらるヽ司法官試驗は日本人は受驗出來不申候哉至急御教示煩し度候（日本人）

◎答 本年十月試驗せらるヽも日本人は受驗せられず同答者は法部の一員

◎問 私は五十圓程今金を持つて居ますが下等な商賣で好いから初めたいのですが何商賣が宜しいか數へて下さへ（一商家の下男）

◎答 商賣の撰擇などは手紙やなにか文字の申込みだけで判明るものでない氣質、体質、經驗の有無等が分明ぬから五十圓と出た金額から推して總菜の呼び賣りを開業し玉へ、れ總菜やれ總菜と、一皿二錢三錢で一寸したものを賣るのだ此度儲かると思ふが君に適當か何うかは僕は受け合はんよ（係）

●海賊と密漁取締

▲小蒸滊船十六隻購入 近時陸上暴徒討伐の進捗と共に暴徒は漸次討伐の嚴重ならざる沿岸の島嶼に集中する傾向あり且つ平安及黃海道沿岸に於ける密漁船は漁業法實施の今日に於ても何團体を組織し公々然密漁に從事し居れるも海上警備の設け無き爲め殆んど此が取締を爲す能はざる有樣にありしが今回新統監は今

●車夫の戶惑ひ 黃金町十番地度支部建築課雇池上又男（三八）は一昨日午前二時頃酩酊して前後不覺となり永樂町淸華亭附近にて伊藤組車夫仁井奈加助の車に乘り黃金町迄挽き行きしに住所判明せず本人は前後不覺の事とて更に要領を得ざるにぞ止むなく南部署に挽き行き又男は翌午前九時迄同署に留置されて說諭の上放還さる、と

同念々十六隻の警備船を購入し沿岸警備を嚴重にする事に決定したりと其の詳細を聞くに購入すべき小蒸汽は十二馬力乃至十五馬力、船体長さ四十尺乃至三十尺、石油發動機据付の魚船形小蒸滊にして吃水淺く諸島嶼巡邏に適當なる構造なりと右は大阪三原造船所に注文する筈にて價格は全部にて四萬圓の豫算竣成期は來る九月の由因に右注文の用務を帶びて仁川理事廳の矢田技師廿日大阪へ赴ける由

●間違つた訴へ 仁川警察署に一昨日午前十二時頃韓人夫朴尙丘（二八）と云ふが出頭訴ふらく濱町二丁目新埋立地稅關工事場阿田組人夫取締磯上佐一郎（三七）なるもの自分に仕事も與ねざるのみならず賃金を附與せず其上毆打したりと申立てたれば警官出張取調べたる所磯上は朴を臨時に雇入れたるが怠惰者にて手が着けられず爲めに一昨日解雇し賃金を時間割にて與ねることとしたるに斯く訴ねたるものなること判明したれば却つて朴は說諭を受く

●藝妓の突出し 兵庫縣宍粟郡山崎町の內山崎町舟引みよ（二七）は源氏名を小三と稱して一昨日新町月下樓より又大阪市西區新町通二の一六增田いち（三三）と云ふ年增妲さんは、ときと名乘りて昨日永樂町二丁目幾代より現はる

●爲替用紙の紛失 去る六月未南大門驛より通信管理局に到る途中に於て同局に送る可き爲替用紙を旭町一丁目河村仙次郎が運搬中容器破損して在中の同用紙百枚綴一冊紛失したりと

●藝妓芝居 昨二日の午後矢口の渡しに扮れ舟に...人形振を見せた淸華亭の久之助



●六月中の事故數 六月中仁川警察署にて保護及び說諭を受けたるものを聞に說諭は日本人男八十九女二韓人男四人にして保護を受けたるものは日本人男四十三女一三韓人男一人なりしと

●公判だより 來る五日法務院に於ける公判は左の如し
一民事（午前十時）上訴人廣和盤十郎被訴人□□□□太郎賣掛代金請求抗告人酒井政平

▲トロール漁業問題 トロール漁業は現時水産界に於ける最も進歩したる漁法なるも日本にては從來の漁業者に於て異論を生じ遂に水產大會の建議となり農商務省

被抗告人株式會社大韓天一銀行間破產決定抗告

一刑事、傷害被告八碑原七五郎

中檢 披露劇を見る（一）

▲不似合の演物が多い 當地一等料理店に依つて新に組織せられたる中檢番の披露として淸華、松葉、有明、井門、花月の各腕利連が歌舞伎座に大演劇會を催すと云ふのは誠に適當な仕方である、尤も翡翠が之れに加はらざりしは遺憾の極みなるも止むなき事情の爲めなりと云へば詮方ない訳である、さて各樓の演物を聞いて自分は一方ならず失望した、其れは芝居が本職に非ざる限り女性として何れも不似合な出し物はかりである、即ち鬼一とか玉三とか近江とか彥九とか菅四とかの樣に咽喉と眼玉を要する者が多い尤も近江源氏杯は小役の見せ場として殊に選びしには因るべけれども總じて六ケ敷き物が多い寧ろ大藪鄕、千本の道行、常盤、朝顏、八人形、道成寺とか云ふ樣な所作の多い即ち藝妓踊が日頃鍊にし踊り又は其他の技藝を見する者を出したならば演者も樂で見る人も又面白いと思ふ併し獨り井門の阿古屋だけは大に我意を得たものである、毎日稽古場を覗いて觀たが義太夫の素養ある人は矢張り大時代のデン／＼物は甘い淸華の三次杯は此点に於て僅かに一頭地を拔いて居る、

同じく昨二日玉三の采女之助と矢口の六藏とに扮したる淸亭華の若龍



花月の若手計りが菅四を演ずると云ふ心掛の殊勝なるには感服の外はないがドウモ此出し物は失敗に終らねば宜いがと蔭ながら懸念に堪へぬ、何れ明日以後各妓の細評及び各樓の批較評を試みよう元より自分は藝術の爲め不遠慮な比評を爲す積りなれば御立腹なき樣前以て御斷りして置く（もの字）



紳士の遊興振

▲大岡力君 君は政友會總務委員二日會の頭領、育造君の令弟で曾ては令兄の膝下にありて中央新聞の編輯を主宰して居つた併し君の長所は編輯に非ずして寧ろ營業の方である、同紙が最に神佛人氣投票と云ふ神武以來例の無い事をやつて羽田の穴守稻荷や蠣殼町の水天宮へ一等當選の燈籠を送つたのは君の頭から出た案だそうな、京城日報を引受けてからも君の不言實行的辣腕は彼の觀光團を興行して政治に貢献すると同時に大分の揚りを占め世人をして舌を卷かしめた、元來不言實行主義の君は啻に新聞經營のみならず遊興に於ても又然りで君が書畫骨董の目利きの甘い如く藝妓の鑑定も又頗る巧みで隨つて關係筋も中々ある樣だ、而して君が藝妓と遊ぶのは飲む爲めでなく歌ふ爲めでもなく只不言實行の爲めである併し此不言實行は時に大に發展して見越の松となり船板塀となつて部下の人々をして羨ましむる事がある又時としては料亭と意志の疏通を缺いで御座敷の無くなる事がある之れも畢竟君がまだ土地の惡風を能く知らぬ處から來るのであらふ
……（投書歡迎）

次は小松書記官

●仁川花柳便り 仁川一山樓の駒助と云へば例の濱町紳士に落籍されたるを以て同地花柳界の好運妓として持て囃され者なるが此妓一時は手活の花となり濟ませしも都合に依り自前にて同樓より名も同じく駒助を名乘りて再び打つて出でたるが如何なる神の惜しみにや近來手足に澤山の出來物を生じたれば醫師の診察を請ひしに惡性の梅毒なる事判明し大に凹み居れる由なるが是れは多分以前岐阜で娼妓を稼いで居た時分の賜のならんと云ふ▲一富士の小富士は難に有馬溫泉に湯治と洒落込み多數の淵蔓をして久しく涎を流させしも此程歸樓したるが以前より肉附も好くなりさなきだに白い色は彌が上にも白くなり大𥁕𥁕緻が上がつたとは結構▲龍岡の樹龍は先般滿期歸國したるが彼れは淺岡開業以來の忠勤者にて一夜に七人の客と同衾せし事もありたる其歸國に際し樓主の餞別タツタ二十圓とは情けないとコボし居たりとは眞か



▲歌舞伎座 に於ける藝妓芝居明四日は井門本店の顧番なるが出し物及び役割は左の如し

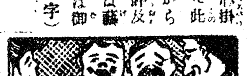
「近江源氏第八段目」
盛綱（蜻蛉）母三明（喜太八）早瀨（千太郎）篝火（雛子）時政（政子）和田兵衞、二の注進（權助）一の注進（蝶々）竹の下孫八（奴）小四郎（きよ）小三郎（千代）

「嫩軍記阿古屋三曲」
重忠（政子）岩永（雛子）阿古屋（蝶々）榛澤（奴）人形（大勢）

「御所櫻辨慶上使段」
辨慶（蜻蛉）侍從（權助）花の井（千太郎）おわさ（喜太八）京の君（小糸）

「鬼一法眼三略の卷」
鬼一（蜻蛉）智惠內（喜太八）虎藏（雛子）皆鶴姬（蝶々）丹海（權助）

▲京城座 本日は「母の心」にして役割の重なるものは左の如し
令孃靜江（東）小間使たゆき（瀨川）常助女房れひろ（部）後妻初子（橫山）小菅（貴部）野本只勝（吉野）騎兵曹長（松村）忠雄（橋本）道雄（靑山）植木屋金六（稻葉）



◀平民文庫▶

▲過日の近事片々に「幸德秋水肺を病む云々」とありましたが同人は數年來胃腸の爲めに苦しんで居る計りで肺病ではありませんよ（東京加山生）▲往來へ撒水するのは宜しいが溝の腐れ水を撒き散らすには恐れ入る却つて此の方が衞生上有害だらふと思ふ（水巴）

▲慈善とか披露とかで催さるヽ演藝會等の招待券や豫め配送する入場券等に滿員の際は入場御斷り申候と樣の事を明記したものを見掛ける事が有るが失禮千萬なことである此れは畢覺會場の收容量と來觀者數とを稽查しないからして生ずる失態である興行師でも入場らぬ客には札は渡さぬ况んや招待した人に對して滿員だつたら入れぬぞとは何んのことだ人を引つ張り出して居いて恥をかヽせる樣なものだ此の度の藝妓芝居のは貧乏人の悲しさ見ぬから知らぬが御多分には洩れめね（土百姓）▲此暑いのに職務の爲めとは云へ炎天に頭を曝して居る巡查諸君の勞を謝します、居留民全部が發起人となつて警官の慰勞大園遊會を催しては何うです、統監よりは私共は密接の保護を受けるのは警官の方に多いから一つ賛成して呉れ玉へ（發起者）▲統監云々は別として、警官の慰勞大園遊會開催は思ひ付きです賛成するに躊躇しませぬ泥峴街の有力者の聯合發議を希望します（係）▲大韓每日申報ではベッセルが死んでも統監が代つても相變らず『日本人入るべからず』の揭牌を撤廢せぬ一つ手始めに之れを撤廢して下さいませれ願ひでございます（日本人）▲新井藥房から團扇をシコタマ寄贈されたので編輯局も工場も團扇だらけウチワ涼しい（小僧）

▲トロール漁業 ...結局半禁止的制限に...せし爲め是等の漁業者は勢ひ關東州又は韓海方面に發展の餘地を以て無制限にトロール漁業を此方面に許可するときは我國沿岸漁業の衰頽を見るに至るは必然なるべきに依り勿論之を絕對に拒否...

●配達出拂 午後七時三十分

北東の風晴後曇
一日 最高溫度 八一、二 最低溫度 六四、八 （華氏）